

(令和5年度 行田中 学校評価の結果について)

◎令和5年度の学校評価(生徒・保護者・職員)の全体的な感想 (保護者について)

- 全19の質問項目中、A(十分そう思う)+B(ほぼそう思う)の全体評価が90%を超えている項目が6項目、80%を超えている項目が6項目あった。No12の質問項目は、どの学年も高評価を得ており、年間を通して適切に行事が行われていることがわかる。
- 学校の環境については、学校だけではなく、園芸ボランティアの協力もあり、正門前をはじめ学校全体が花と緑に囲まれた環境作りに努めてくださり、また、今年度から行田中協力隊として地域の方々が年に2回、学校の側溝掃除や木の剪定など清潔で美しく整った環境作りに努めてくださった結果だと思われる。
- 2・3年生の保護者の方の9割が一年間で子どもの成長を感じている。1年生に関しては、9割に近い保護者が成長を感じており、普段の学校生活をはじめ、行事や部活動をとおして日々の活動が着実に子どもの成長へとつながっていることが分かる。
- わかりやすく発達段階に即した授業を行っているかでは、84%と高い評価を得ているが、子どもが学習内容を理解していると感じている保護者は7割を切っている。また、家庭学習の習慣については、6割を切り、年々低くなっているのが学校としての課題である。基礎学力の定着と学習の習慣化を図るために、家庭との連携を図りながら取り組む必要があると考える。

(生徒について)

- 23項目のうち、7項目が90パーセント以上、11項目が80パーセント以上である。特に No2「思いやりのある優しい心を持っていますか」No10「仲間を大切にしていますか」では、A+B の評価が90%以上であり、学校教育目標の「豊かな心を持つ」部分では達成できていると感じる。自ら進んで学習をすることや、健康増進や体力向上に関しては、これからの課題である。
- 基本的な生活習慣については、No7の「最後まで話を聞くことができるか」では、どの学年も評価が高い。清掃の項目では、生徒の評価が高いとともに、保護者の学校美化に対する評価も高く、学校、地域全体での取り組みの成果だと考えられる。
- 全体の8割は「行田中学校は他の学校に自慢できる学校」と感じている。今後さらに特色を活かし、全生徒が自慢できる学校だと感じられるようにしたい。
- 「困ったときに相談できる先生はいますか」の評価は昨年度より上昇したものの、他に比べて低いことが課題である。今年度の評価を踏まえ、相談体制の強化をし、かつ、生徒指導主事を中心に、効果的な支援方策の構築に努める必要がある。

(学校関係者について)

- 18の質問項目のうち、7項目が90パーセント以上、そのうちの4項目が100パーセントである。No2の質問項目においては、日頃先生方が個に応じたきめ細やかな授業展開を心がけ取り組んでいる成果である。また、No3の評価項目では、保護者アンケートの考察でも記載したように、学校だけではなく、園芸ボランティアや行田中協力隊の協力もあり、正門前をはじめ学校全体を美しく整った環境にしようと努めてくださった結果だと思っので大変感謝している。
- 「楽しく学校に登校しているか」では、100%と高く、学校関係者から見ても生徒達の学校生活全般が充実していることが窺える。
- 課題として、相談体制での評価は、他に比べても低いことが課題である。今年度の評価を踏まえ、相談体制の強化をし、生徒指導主事を中心に、効果的な支援方策の構築に努める必要がある。

☆日頃より、本校の教育活動に対して、ご理解ご協力をいただき誠に感謝しております。

ご意見を参考に、より良い学校作りに、教職員一同努めていきます。

☆集計については、R5 学校評価集計表をご覧ください。